



「47年目の開所記念日」

所長 早川恵子

いこいの家は、在宅障害児のための通う場所を作ろうという保護者やボランティアの思いが実り、昭和49年（1974年）に葵区春日町、谷津山のふもとに建設されました。7月1日の開所早々七夕豪雨に見舞われ、大変なスタートとなりました。北側は山の斜面、南側には芝生の園庭が広がり、すごく日当たりが良く、園庭からは日本平の方まで見渡せるようなとても眺めの良い所でした。散歩コースもバラエティーに富んでいて、線路沿いで電車を間近に見たり、国道1号線の歩道橋の上からたくさんの車や、静鉄電車、JR電車や新幹線を見ることができました。谷津山にもよく登り、東の護国神社から西の清水公園まで縦走するクラスもありました。散歩中の道端に山ミミズやまだら模様の蛇がいたり（！）園庭をタヌキが駆け抜けていくこともありました。谷津山の豊かな自然はこども達に多くの経験をさせてくれ、泣いたり笑ったりの30年を過ごしてきました。

そして、土砂災害の心配がない、城東保健福祉エリアの一画に平成17年（2005年）に新築、移転することになり、整った環境の中であっという間に17年が経ちました。今日も緑の園庭ではこどもたちの笑う声が響いています。セキレイも毎年園庭の片隅に卵を産んで育てています。今年も雛がかえり、先日無事に飛び立っていきました。

いこいの家はこれまで878名の卒園児を送り出してきました。これからも開所当時の思いを受け継ぎ、お世話になった皆様に感謝しつつ、こども達とその御家族と共に歩んでいきたいと思えます。

私事になりますが、6月途中から前所長の後任となりました。改めましてよろしく申し上げます。クラス担任、親子教室担当などを経て平成24年からは相談支援ちゅーりっぷを担当していました。初心にかえり、いこいの家がいつまでも、『こどもの杜』であり、『いこいの家』であるように努めたいと思っています。